

## 〈新首相指名で政治は変わるか〉

ご町内のみなさん。日本共産党です。これより日本共産党の政策と主張についてお話しさせていただきます。ご協力よろしくお願い致します。

みなさん。国民の期待に背き、公約を裏切って辞任に追い込まれた鳩山由起夫氏に代わって菅直人氏が民主党の新しい代表に選ばれ、国会で新しい首相に指名されました。菅直人新首相は、しきりに新しさをアピールする一方、沖縄・普天間基地問題と「政治とカネ」の問題について、「二つの大きな重荷を総理自らがやめることで取り除いていただいた」と記者会見で語っています。

しかし、みなさん。鳩山氏が首相を辞めたことで、この二つの問題が一件落着となったのでしょうか。鳩山氏を辞任に追い込んだ、この二つの問題は鳩山氏だけの責任に帰せされるものではありません。菅首相を含む民主党全体の責任が問われているのではないのでしょうか。

まず沖縄の普天間基地問題ですが、名護市・辺野古への「県内移設」と徳之島・全国各地への訓練の分散移転を決めた五月二八日の「日米合意」は鳩山氏が辞任したからといってなくなるわけではありません。これは当然、菅政権にも引き継がれることになります。菅直人氏は、民主党代表選挙の出馬にあたって、「日米合意を踏まえる」と発言していますが、そうした立場に立つ限り、沖縄県民の総意との矛盾をますます深め、大きな破たんを直面せざるをえません。

次に、「政治とカネ」の問題ですが、鳩山首相と小沢幹事長が辞めれば済むという問題ではありません。責任は自らの疑惑解明の責任を果たしてこなかった鳩山氏や小沢氏だけでなく、党として調査もせず、自浄能力を発揮してこなかった民主党全体が問われています。本当に民主党がクリーンな政党に生まれ変わったというのであれば、少なくとも小沢氏をきちんと国会の証人喚問に出させて、その場で真実を語らせるべきではないのでしょうか。

ところで、みなさん。七〇%を超す高い支持率を受けて発足した鳩山政権が普天間基地問題などで混乱を続け、ついには国民の怒りを受けて辞任に追い込まれたのは、なぜでしょうか。

その大きな背景にあるのは、アメリカにも財界にもハッキリとモノを言えないという戦後政治のゆがみから民主党が抜け出せなかったからであります。来る参議院選挙では、まさにこうした政治の転換が求められています。

日本共産党は、アメリカに対しても、財界に対しても、相手も否定できない事実と道理をもって、国民の立場で堂々とモノを言い、政治を動かすために行動してきた政党です。

沖縄・普天間基地問題でも、アメリカ政府に対して解決方法は基地の無条件撤去しかないと伝えてきた政党です。こういう政党が伸びてこそ、日本の政治の希望ある明日が開かれるのではないのでしょうか。比例代表では日本共産党、この埼玉選挙区では伊藤岳が県民の願いと要求を受けとめてがんばっています。

どうかみなさんのご支援、ご協力を日本共産党と伊藤岳にお願い申し上げます。ご当地でのお訴えとさせていただきます。ご協力ありがとうございます。